



今月の内容

WASLI 会員

マラウイで手話通訳者 7 人が卒業
マレーシア通訳者教育セミナーレポート
日本の裁判員制度について
今後の大会予定

WASLI 会員

WASLI は成長していますが、更なる成長と目標到達のためにはより多くの通訳者に個人賛助会員になっていただくことが必要です。賛助会員になる手続方法は <http://www.wasli.org/Membership.htm> をご覧下さい。会費は決して高額ではなく、各国の GDP に基づいています。また、賛助会員として発展途上国やそれらの国の通訳を支援することもできます。ご質問は会員事務局カール・ロールカ (membership@wasli.org) までメールをお願いします。

マラウイ



国土：118,484 k m²

人口：14,258,711 人

首都：リロングウェ

言語：チチェワ語 57.2%(公用語)、チヤンジャ語 12.8%、他 (1998 年国勢調査)

GDP：800 ドル(2008 年概算)

輸出：タバコ、茶、砂糖、綿、コーヒー、ピーナツ、木製品、衣類

(原典：<http://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/mi.html>)

マラウイで手話通訳者 7 人が卒業

ベティ・ウシキ

下の写真はマラウイのボランティアで行われた手話通訳者養成講座の様子です。

デフアクション(スコットランド)と障害者高齢者担当省の基金を元に、マラウイろう連盟(MANAD)は 2007 年から 2009 年まで 2 年間の手話通訳者養成プログラムを実施しました。養成はマラウイのろう者と手話通訳者の二人の講師が担当し、デフアクションの代表者であるろうの手話指導者と手話通訳者の協力を得て行われました。



講座は、様々な分野や職業の 18 名の受講者がマラウイ中から集まりました。そのうちの 7 名がみごとに必要単位を満たし、通訳者として活動が出来ることとなりました。これはマラウイのろう者の課題であった、いつでも手話通訳サービスを受けたいとの願いの解決につながるでしょう。マラウイには 5 万 2000 人以上のろう者がいます。今まではこれら全ての人々がフィンランドろう協の援助を得た東部、南部アフリカ地域の手話プロジェクトで養成を受けた 11 人の手話通訳者に依存していました。これで通訳 1 人に対してろう者が 200 人という状況にな

りました。

この改善により比率がいままでに小さくなりました。しかし、この人数でも十分ではなく、ろう者が他の人たちと対等の待遇や援助を確実に受けられるためにもっと多くの通訳者の養成が必要です。国連で障害者の機会均等に関する協定が規定されたように、ろう者も自分たちが分かる言語(手話)で情報やサービスを受ける権利があります。受講者がマラウイの全3地域から集まっているので、全国のろう者が手話通訳者を利用する機会が均等に与えられることになります。

マラウイのろう者に対する福祉向上に援助していただき、スコットランドとマラウイの政府に感謝しています。デフ・アクションに対しては講座を通しての特に技術指導の援助に感謝しています。マラウイで手話が公用語の一つとなるなど憲法でろう者の権利が尊重され手話が認識されて受け入れられるような改善を実現するために、この企画の援助を続けることを推進しています。



マレーシア通訳者教育セミナーレポート

2009年8月22日～25日

デブラ・ラッセル(カナダ、アルバータ大学)

このセミナーはRCデフ・ミッションによってとても専門的な内容で企画され、9カ国から55人の参加者がありました。(ナイジェリアとギリシャは土壇場で不参加となりました。)
セミナーは言語分析を重点的に取り扱っていましたが、我々はマレーシア手話に注目していました。私は3人のろう的手話のモデルと共に参加しましたが、彼らは本当にすばらしかったです。



実習の時には、数カ国の参加者は自国のろう者も一緒に参加していたのでうまく役割り分担もし、参加者ほとんど全てが言語的の差異も乗り越えマレーシア手話を分析することができました。

ある一夜にはろう者ダンス一座による中国、インド、マレーシアの伝統的舞踏を堪能できました。

私はマレーシアろう者連盟を訪問し、現地での通訳者養成課程や通訳技術の向上に対する取組みについて学ぶ機会を得ることができました。この国はまだ政治的、制度的に統一されておりませんが、通訳者の技術向上に対する一定の理解があり、希望もあると思います。これは私にとって素晴らしい経験となり、参加できたことをとてもうれしく思っています。

日本の裁判員制度について

新しく始まった市民が裁判員として参加する「裁判員制度」に対する全日本ろうあ連盟と手話通訳士協会の取組みが、日本聴力障害新聞によって報じられています。

記事はこちらです：<http://www.jfd.or.jp/en/news/2009-04b.html>

今後の大会予定

精神衛生とろうに関する第4回世界会議

オーストラリア、ブリスベン

2009年10月27～30日

www.mhd2009.org

ろう教育国際会議

バンクーバー

2010年7月18～22日

通訳者募集

ろう教育国際会議の準備委員会では会議の通訳者の応募を受け付けています。この刺激的かつ魅力的な会議でのASL(アメリカ手話)ー英語通訳者チーム、国際手話(IS)通訳者チームを募集します。

応募締め切りは2009年11月1日です。

詳細はこちらをご覧ください：<http://www.iced2010.com/interpreters.php>

重要事項

WASLI 理事会や外部からの寄稿者とともにこのニュースレターは作成されている。WASLI は発信した情報の信頼性を確保するように努めるが、発信された内容の正確性や意見についての責任は一切負わない。出典さえ明らかにすれば、このニュースレターで発信された情報を他の場所でも使用することができる。しかし、WASLI の公的な写真を使用する場合にはsecretary@wasli.orgまで連絡し、許可を得なければならない。

寄付のお申し出は austroceania@wasli.org

メールアドレスの変更は、secretary@wasli.orgまで。

WASLI / 理事会

リズ・スコット・ギブソン（会長）；ファン・ドゥルエッタ（副会長）；ゼイン・ハマ（事務局長）；ダニエル・バーチ（会計） 会計

地域代表

市川恵美子（アジア）；ジョージ・メジャー（南洋州オセアニア）；フィレモン・アカッチェ（アフリカ公式代表）；ジャック・オウィティ（アフリカ臨時代表）；セルマン・ホティ（バルカン）；マルコ・ナルディ（ヨーロッパ）；ホセ・ルイス・ブリエバ・パディラ（ラテンアメリカ）；デブ・ラッセル（北アメリカ）；アンナ・コマロワ（ロシア・コーカサス・中央アジア）